# 小5理科 植物の発芽と成長 No.4

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

**問1** 発芽に空気が必要か調べる実験をするとき、空気にふれさせるものとふれさせないものの間で、同じにそろえなければならない条件はどれですか。

○ 水と日光　○ 温度と肥料　○ 水と温度　○ 日光と土

**問2** 植物に日光を当てずに育てると、葉の色はどのように変化しますか。

○ 青色になる　○ 黄色くなる　○ 赤色になる　○ 黒色になる

**問3** 種子の中で、発芽や成長に必要な養分がふくまれている部分を何といいますか。

○ 子葉　○ 本葉　○ 根　○ 茎

**問4** 植物が発芽したあと、元気に大きく育つために必要な3つの条件はどれですか。

○ 日光、空気、適当な温度
○ 日光、水、肥料（養分）
○ 水、空気、適当な温度
○ 水、土、暗い場所

**問5** 植物の種子の中にふくまれている「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

○ 植物のからだを冷やす役割
○ 植物に水を吸い上げさせる役割
○ 植物が発芽したり成長したりするための養分になる役割
○ 植物のまわりの空気をきれいにする役割

**問6** 発芽した後の子葉がしおれていくのは、子葉の中にふくまれていた何という栄養分が使われて少なくなるからですか。

○ たんぱく質　○ 水　○ 脂肪　○ でんぷん

**問7** 種子にふくまれるでんぷんは、植物が発芽してしばらく成長すると、どのようになりますか。

○ 成長を助けるために、どんどん増えていく。
○ 成長のための養分として使われて、なくなっていく。
○ 水に変わって、茎や葉をうるおす。
○ まったく使われずに、そのまま種子の中に残り続ける。

**問8** 種子の中にある子葉には、どのような特徴や役割がありますか。

○ 虫をよんで受粉を助ける。
○ 土の中から水や空気をすいあげる。
○ 花をさかせて新しい種子をつくる。
○ 発芽や成長に必要な養分がふくまれている。

**問9** 種子の発芽の実験で、水の中に完全にしずめた種子と、しめらせた脱脂綿（だっしめん）の上に置いた種子をくらべました。水の中に完全にしずめた種子が発芽しなかったのはなぜですか。

○ 水をたっぷりあたえすぎて、種子が日光にあたらなくなったから。
○ 水をたっぷりあたえすぎて、種子が空気にふれなくなったから。
○ 水をたっぷりあたえすぎて、種子の温度が下がりすぎてしまったから。
○ 水をたっぷりあたえすぎて、種子から栄養がぬけ出してしまったから。

**問10** 植物の種などに、でんぷんがふくまれているかどうかを調べるために使う液は何ですか。

○ 食塩水　○ うすい塩酸　○ ヨウ素液　○ 石灰水

**問11** 植物の発芽や成長の条件を調べるときに、調べたい条件だけを変えて、それ以外の条件はすべて同じにして行う実験のことを何といいますか。

○ 予想をたてる実験　○ 条件をそろえる実験　○ 自由に変える実験　○ かんさつする実験

**問12** 種子が発芽するために、必ず必要となるものはどれですか。

○ 土　○ 水　○ 肥料　○ 二酸化炭素



QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう